



Joyful Naturalist



Contents

- Topics
 - 〈特集1〉夏休みは“岡上”道楽 ～夏のイベントレポート～
 - 〈特集2〉東京の川を考えるシンポジウム2008
 - 〈特集3〉夏の小山田緑地・親子で楽しむ昆虫観察会
- NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動
- 鶴見川源流ネットワーク参加団体活動
- 7月、8月の活動報告
- 9月、10月の活動予定

No.165

★ 鶴見川源流子どもキャンプ



宮橋での魚釣り



楽しい夕食タイム

風の丘公園眺望



8月3日(日)から一泊二日で、npo源流ネット主催、npoTRネット共催、町田市協賛、小山田小学校協力、健全育成協力、小山田緑地協力、鶴見川水協議会協力で「鶴見川源流こどもキャンプ」を実施いたしました。一昨年のサルビア交流源流キャンプと同様の内容ですが、今年は、東京都の「多摩・島しょ子ども体験塾市町村助成金」を得て源流キャンプ単独のイベントとなりました。参加者はこども20名、保護者3名、スタッフおよび学校関係者36名の合計62名体制となりました。

運搬スタッフは8時に源流ネットワーク事務所に集合し資材を積み込みスタート、9時に他のスタッフと小山田小学校に合流、開校の準備を行いました。校長先生は、体調の思わしくないところ開校のためにわざわざ来ていただきました。一般集合時間の10時の30分前にはチラホラ参加者が現れ受付を開始、15分以上遅れる参加者もいてはらはらしましたが、予定どおり開校式を行い、最初のプログラムののはなみずきの丘「風の丘公園」に出かけ、鶴見川の源流流域の全景を眺望しました。午後は、メインのイベント、鶴見川宮橋での魚とり体験で、ライフジャケットを着用、スタッフ10名の見守る中、川に入りタモ網を駆使して魚とりを開始しました。ほとんどのこどもたちが初めての体験なので、スタッフがタモ網の使い方を指導するのですが、もう夢中、聞く耳を持ちません。あっという間に時間は経過しむずがる子供たちをなだめて終了。帰校して、シャワー浴びる間、スタッフはテント設営、18張のテントを校庭に立てました。夕闇せまる校庭でシートを敷いて夕食のカレーをご馳走になりました。食後は、ナイトゲームと称して、鶴見川のビーダマ模型をつかい、2組の対抗ゲーム風に仕立てて遊びかつ楽しく学びました。例年のごとく、夜遅くなくても興奮して寝つけない子がおり、スタッフ全員寝不足で夜が明けました。

翌日は朝から猛暑、小山田緑地でのザリガニ捕りが今日のメインイベント！水筒とポカリスエット350ミリリットルを持って出発、緑地管理センターで生きものの説明を聞いたのち池へ。途中カブトムシを発見して大騒ぎ。ザリガニは、減少傾向の杞憂にもかかわらず274匹の成果がありました。ひとりで30匹も吊り上げた猛者も。

留守番スタッフは、テントの撤収や資材の戻し作業です。一方子ども達は、気温が上がる一方の中、飛ぶように学校にもどり、昼食をとりました。スイカのデザートも出て満腹のお昼でした。

昼食後は、閉校式。期間中の健康管理カードをひとりひとり看護師さんより返却、スタッフ全員の感想意見を発信して終了いたしました。なお、水協議会より「鶴見川流域生きものガイドブック」（NPO法人流域自然研究会発行）を、小山田緑地からは「都立小山田緑地の生きものたち」（財団法人東京都公園協会発行）を全児童に提供していただきました。

環境変化で体調がやや不調になった子どももいたものの、大きな事故もなく無事終了しました。学校職員のみなさま、スタッフのみなさま、関係者のみなさまありがとうございました。

【npo源流ネットワーク 小林美晴】